

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

■ 下校時刻を守ろう ■

大運動会までは、18時45分が完全下校(校門通過)

子どもゆめ体験 参加者募集

ダイヤモンドの4C

原石の形を整え、磨きかけ、最高の輝きを引き出し

デパートの宝飾品売り場に勤める友人から、ダイヤモンドの話聞く機会がありました。

ダイヤモンドには、その価値や品質を評価するた

めの国際基準があるそうです。「重さ」「色」「透明度」「研磨」の4C。英語で言う「carat/color/clarity/cut」その頭文字をとって「ダイヤモンドの4C」と呼ばれています。

まず、「carat」について考えてみましょう。これはダイヤモンドの重さのこと。大きさは1000分の1でいいでしょう。大きさは人間の手を変えることはできるでしょうか。大きな石を小さくすることはできません。だから、「carat」は人の手で変えることはできません。

残るは「cut」。原石の形を整え、磨きかけ、最高の輝きを引き出す工程。これこそが唯一人間の技術に委ねられ、人の手によって価値を高めることができるもの。どんなに大きくても、無色透明で不純物がなくても、磨かなければただの石。磨くことによって石はダイヤモンドになる。

友人の話を知っているうちに、人についても同じことが言えると思えました。人にはそれぞれ違った個性や能力があります。でも、どんなに才能があっても、それを磨いて発揮しなければ「ない」と同じ。

「このことについては、4月30日にチラシを配布したところですが、長崎市が子どもゆめ体験という事業で、ロンドンに研修に行く生徒を募集しています。現地の人々との交流を通じ、文化・習慣などを肌で感じることで国際性を育むと共に、英語で被爆の実相や平和への思いを伝える力を高めることにより、次世代を担うグローバルな人材を育成することをねらいに掲げている事業です。

また、「color」は？ダイヤモンドには、黄色がかかったものやピンクがかかったものなど色のついたものがありますが、無色透明なものほど価値が高くとされています。そこで昔から多くの科学者がダイヤモンドの脱色を試み

「一年、様々な出会い・体験・学びを通して、自分の能力・可能性を引き出し、高めてほしいと思います。」

まさに、本校の教育目標『国際社会に生きるよき日本人の育成』にぴったり。研修期間は、令和6年8月21日(水)～8月29日(木)。募集人員は、16名。参加費は6万円程度。詳しくは、配布済みのチラシのQRコードからアクセスしてください。興味がある人は、英語科担当まで。



練習から磨きのかかった行進 本番が楽しみ

伊良林まちづくり協議会が設立

4月21日(日)に「伊良林まちづくり協議会設立総会」がふれあいセンターで開催され、まちづくりの方針の策定や事業計画予算の決定などが諮られました。

伊良林小校区では、小学生や子育て世代の方、高齢の方など、たくさんの方が集まって「伊良林ふれあいトック」を令和4年6月、令和4年11月に開催し、本校生徒も参加するなかで、まちの



一人一人の笑顔があふれる大運動会に

未来について話し合ってきました。最初の話から約6年、準備会を丸2年、様々な議論を経て、ようやくまちづくり協議会が立ち上がりました。人口減少や少子化・高齢化など社会の状況は変化しますが、これからも暮らしやすいまちであり続けるために、住民の皆さんの思いを形にしたものになりました。また、地域の皆さんの思いをできることが

ら形にしていければいいなあと思っているところです。

目指す将来像に向かって、毎年必要な取組を考え、実践していくこととなります。まずは、「校区まつり」に向かってスタートです。

今年度の事業の概要

1 伊良林校区まつり
地域内の各種団体が集まり、地域の交流を推進させ、つながりを深める。水害犠牲者の慰霊と災害

に遭わない強靱な地域づくりを目的とする。

令和6年7月20日(土) 14時～19時 伊良林小グラウンド

伊良林校区グラウンドゴルフ大会

グラウンドゴルフを通して、地域のつながりを深める。高齢者と中学生の交流を図る。

令和6年11月23日(土) 9時～12時 桜馬場中グラウンド

めぐす将来像

歴史あふれる長崎街道のまち
行きたい
住みたい
帰りたい
伊良林でまっとなるばい!

挨拶を考える

挨拶とは、相手思い、自分も思う、思いやりの気持ちそのもの。

自立・自律した人間の基本が「挨拶」。「挨拶(あい)」は「開く、近づき合う」、「挨拶は自分の心を開き、相手に近づいて相手の心に迫る」こと。

元気に明るく、笑顔で、相手の目を見て心で伝える挨拶が「桜色の挨拶」。「桜色の挨拶」が、いつでも、どこでも、誰でもできるような桜中生になっ

てほしいな。教室に入るときには、「今日もよろしく」という思いを込めて「おはよう」と挨拶しよう。朝登校したら、クラスメイトに声をかけよう。自

部活動加入人数/割合71%

○バレーボール(女子)	11
○バスケットボール(男子)	14
○バスケットボール(女子)	28
○バドミントン(男子)	28
○バドミントン(女子)	22
○野球	12
○ソフトテニス(男子)	10
○ソフトテニス(女子)	17
○サッカー	19
○陸上	28
○剣道	9
○オーケストラ	35
○太鼓	15
○美術	16
○茶道	16

運動部11部(198名) 文化部4部(82名)

然に優しさや親しみを感じられるようになり、すがすがしい気持ちで1日をスタートさせることができます。笑顔が投げかけたら、やっぱり笑顔が返ってきます。地域の方には、「日ごろから私たちの命や安全を

守っていただきありがとうございます。ご感想の気持ちを込めて挨拶しよう。あ、相手を見て、いつもさ先に、つづけて、心をかけよう。

各群の応援団長

- 赤群(1組)**
 団長 牟田 丞
 副団長 小宅 沙和、荒木 優太、楠葉 風音
- 青群(2組)**
 団長 小椋 秀太郎
 副団長 藤井 晴、浦山 濱崎、幾麻
- 黄群(3組)**
 団長 秀島 飛翔
 副団長 江川 健土、堂山 凉太郎、森川 美和
- 緑群(4組)**
 団長 高比良 歩武
 副団長 中橋 胤空、松下 永和、山川 継達